

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力のお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

抗菌薬使用歴と緑膿菌のβ-ラクタム系抗菌薬に対する
耐性獲得に関する後ろ向き観察研究

1. 対象となる患者さん

当院で 2021 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの間に血液培養から緑膿菌が分離された患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学 感染症内科学講座 笠松 丈人

3. 研究の目的と意義

この研究は、カルテ情報および患者さんから得られた菌株を解析し、抗菌薬の使用状況と緑膿菌の抗菌薬への耐性（抗菌薬が効かないこと）獲得の関係を明らかにすることを目的としています。緑膿菌は抗菌薬治療中に抗菌薬に耐性化し、治療が難しくなることが知られています。抗菌薬使用状況と緑膿菌の耐性獲得の関係が明らかになることで、緑膿菌感染症に対する最適な抗菌薬治療に繋がることが期待されます。

4. 研究の方法

5. に示す情報を対象の患者さんのカルテから収集します。また、血液培養から分離された緑膿菌の菌株の抗菌薬への耐性メカニズムを解析します。これらの情報から、抗菌薬の使用と緑膿菌の抗菌薬への耐性化の関係を分析します。また、患者さんの予後に関わる緑膿菌の耐性機序についても分析します。

5. 使用する情報・試料

診療情報：年齢・性別・背景疾患・診断名・過去の入院歴・集中治療室入室歴・挿入されて

いた医療器具・侵襲的な処置の有無・抗がん剤使用歴の有無・バイタルサイン・血液検査結果・抗菌薬の使用歴・30 日以内の死亡の有無・入院日数
試料：血液培養検体から得られた緑膿菌の菌株

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2029年09月30日

8. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

9. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 感染症内科学講座 笠松 丈人

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：takehitokasamatsu@naramed-u.ac.jp